青少年の心理と生理

―少年育成指導に当たる婦人研修会から―

さきに静岡県下の国立中央青年の家で開かれた「少年育成指導に当たる婦人研修会」に岡豊町の川添茂子さんが出席した。以下はそのときの講師、九州大学の牛島義友教授の講演内容で川添さんの手記による。

ヨーロッパでは、家庭教育の重大さを一般の父母はよく自覚して、家庭独自の躾を守っている。これは学校の教師といえども介入は絶対に許されない。それで先生は家庭のことには、ふれないよう遠慮しているし、フランスでは先生の家庭訪問は禁じられている。

日本の母親達は六十パーセントまで、子供を大学まで行かせたいと希望している。そして学校さえ卒業すれば事足れりと、すべてを学校にまかせ切りである。先生も全責任を感じて、すべてを指導しなければならないように思い、家庭教育は単に学校教育の延長に過ぎない有様となっている。子供にとって、学校は決して天国ではない。先生には権威的な圧力があり、環境的時間的に制約せられて、子供達には緊張感が強過ぎる。そこで家にかえると、はっとした寛ぎで先ず母親に甘え寄りかかる。日本の母親はこの子供に、宿題をとか何かと言って、学校の先生と同じ態度に出る。失望を感じた子供は次第に母親の言うことを聞かなくなる。母親は困って、益々先生をたより家庭教育は全く出来ないのである。

家庭教育こそ、学校では出来ない個性に応じた教育の出来る場である。子供の人格を築きあげてゆく、性格教育、宗教教育は、子供を上手に育てる父母の掌中にある。

中学生になると次第に個性に目覚め、自分の考え、理想が出来、やってみたいと思うようになる。そして親の考えや教師に対立してくる。特に両親に対して幼い時絶対視していた偉い親がみじめで哀れに見え始め、裏切られた思いに、何かにつけ不満の種となってくる。中学生になると親が授業参観に来るのを嫌うのはみじめな親を人に見られたくない思いからである。これは余り問題にしないがよい。幼少の頃より、親を偉いと尊敬さすより、大好きな人と親しみを持つようにしておくと、この時代の気持に変化が少い。

次に自他共に信じられない不安と、自分の肉体的変化に対しての不安とで悩み易い。この不安によって、小さくなるのではなく、わざと外形だけでも強く見せたがる。大人の真似をして服装を気にしたり、煙草を吸ったり、子供ではないということを他人に見せて、虚勢を張り、優越感に満足している。

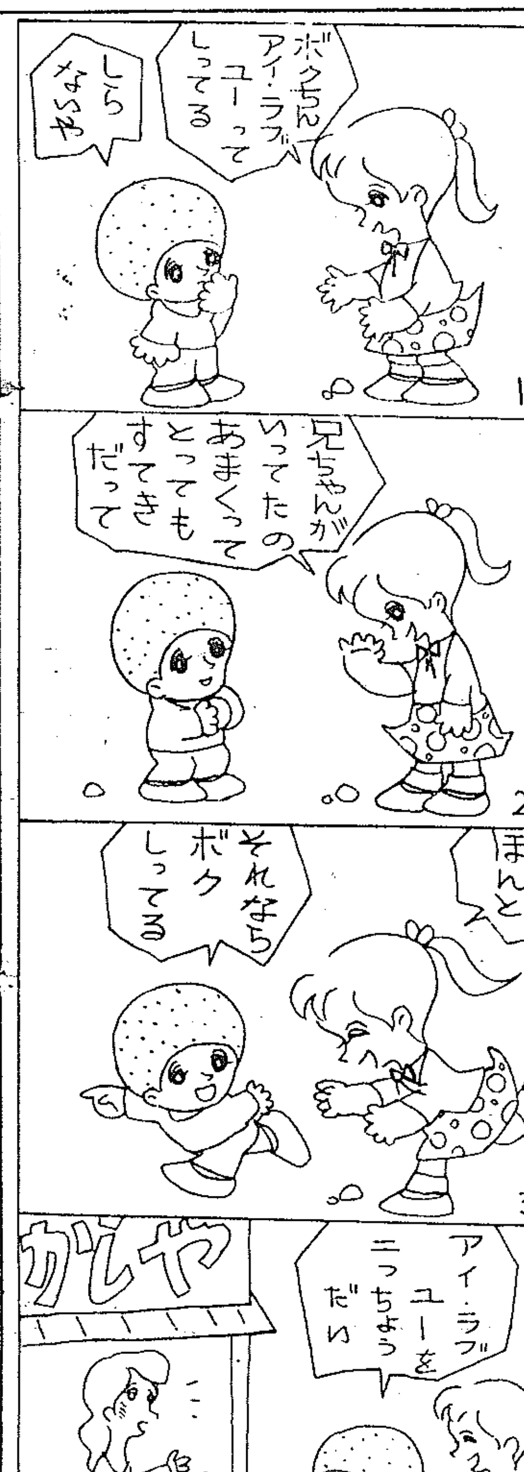
この気持を親が汲んでやることが大切である。ぶっているのを買ってやることである。決して生意気など言う言葉は使ってはいけない。自分で弱点は神経質な程知り、不安定を感じているので、非常に興奮して大人に逆い遠ざかってしまう。イギリスでは、大人の礼装を与え、少年の要求を満たして、あなたは立派な紳士になったから恥かしくないようにと、礼儀作法や成人教育を躾ける。

十二才から十八才までの間は次第に大人をさけるようになり、仲間の生活を大切にし、グループを持つ。

この仲間では、虚勢を張るに上手なものが力があって大将になっている。この力をめぐっての争いが絶えず続く。即ち他の者も負けるものかと、虚勢を張るため、悪いということは知っていてわざとする。俺も出来るという勇気を誇るのである。こうして集団的に非行をする。この仲間作りを、健全な仲間として作ってやることが大人の急務である。

健全な仲間には良い指導者が必要である。それは学校の先生ではいけない。大人が先に立っても附いてこない。又グループ員と同じ年齢もいけない。少々年長者で青年の気持を持っていて大逸れたことは押える普通の青年が良い。この時代は規律ある生活に興味を持つので、指導力にぐんぐん引きつけられて、全体が統一し、グループ指導が楽しいことを味う。

大人達は青少年グループの良い指導者を作ってやり、楽しく活動出来るよう、いろ〳〵の準備がとゝのうよう下世話をするのである。



：三等医者：

鍋島　勉

患者「先生薬を二日分のんだに、チットも良うならんが、どう云うもんちやろうのう。時にわしの病気は何んぜよ」。

医者「この前、診た時に云うたろがよ。おまん胃腸が悪く胃腸病よよ」

患者「矢つ張りそうかよ、おまん存外診ちようのう。実は太夫さんに見てもろうたら矢張り胃腸病ちや云うたわよ。先生も存外よう診ちよるよ、太夫さんの云う通りちやきに。」

以上は今春の医師会芸能大会の芝居の一こまである。

脳軟化症（中風）で四年越し寝たつきりの患者に宗教に入ったら三月の間に歩ける様にしてやると云われてその宗教に入った。

半年以上たっても全然同じ状態。勿論医学的に云っても当然の事であるが。

医者家人に曰く「もしも立場をかえて、医者が三ケ月で癒してやると云うて、金をとって半年以上たっても癒らさったらおまん等どう云うぜよ。神様は得ちやのう、三月の約束が半年たっても未だ拝んでもらいよるが」

× ×

「ヒステリー」症状がひどく理由の分らん事を口走って、喚めき散らし、暴れて手のつけられない五十前後の更年期の女の患者。往診を頼まれ注射その他の手当をして、何うにか落ちつかせて帰り、翌日いって見ると、殆ど常態に復している。手当をして帰り、三日目に寄って見たら留守。近所の人に聞けば、祈ってもらったら良くなったので大和へ御礼参り行ったとのこと、一年たってまた発作で呼ばれる。前と全様、手当をしてさて帰えろうとすると、家人が「向うですろ」、と云う「去年やったのと同じちやきに心配いらん」と云うと、「前とおなじかよ。そんなら「○○○」へいって拝がんでもろうてくらア、去年も拝がでもろうて癒ったきに」。

以上の話を読んで大部分の人は、ばからしいと一笑に付するだろう。だが眺笑って済ませる問題ちやない。「まじないやら、御祈禱」をばかばかしと笑えるのは心身共に健康な証拠であって、人間一度病気をすると誰でも心細くなり、何かにすがりつきたくなるもので近頃アメリカあたりで精神医学が特に強調されているわけでもある。

むかしから「健全なる精神は健全な身体に宿る」といはれる。病気して健全でない精神状態、その弱味につけ込む者達にのろいあれ。既成宗教も末世の、後生のと、死んだ者ばかり相手にしないで、生きている人に正しい宗教心を植えつける様にしないと、新興宗教に太刀打ち出来なくなるだろう。

医者についても似た様な事が云える。即ち医学者必ずしも流行医たり得ない。医者の仕事を一等、二等、三等、と三つの種類に分ける事ができる。

一等医者と云うのは、病気にならない中に手当をする。云い換えれば、人間を病気から護る。

二等医者は、病人を出来るだけ早く病気から解放し、余病の起らない様に万全の処置をする。

三等医者は病気になったらその病気についてのみ手当をする。

例えば「ハシカ」や「流感」に罹り、もし肺炎を起すかも知れない場合で、その予防的な手当ができない旨の保険医に対する厚生省の統制がある。とにかく現在罹っている病気については保険の診療は認めるが、他のものについては一切認めない。「ハシカ」で肺炎を起すかも知れないときでも、その予防的な処置は保険では許されない。肺炎になるのを待って初めて肺炎の処置が許されると云うのが保険医療である。

来年四月から国民皆保険となるが、その時こそ医者は凡て、三等医者たるべく強制される時である。一等医者と二等医者は保険診療では当然抹殺される運命にある。

この医療の統制をなくしてせめて二等医者であり度いと希うのが吾々保険医の切なる願いである。（筆者は土長郡医師会長・医博）

―商工会職員募集―

新らしく発足した南国市商工会では、業者の税務、金融等経営の改善を図るため、次の要領により経営改善普及員を募集している。

1. 募集人員　1名（昭和36年度更に1名）
2. 勤務地　南国市後免町（商工会）
3. 履歴書提出期日　8月25日
4. 試験日　別途通知する。
5. 応募資格

イ　大学卒で、最近5年のうち2年以上商工業又は、業態指導の経験を有するもの。

ロ　短期大学又は旧制専門学校、旧制商業学校卒で、最近5年のうち3年以上の経験を有するもの。

ハ　その他の者で最近7年のうち5年以上の経験を有するもの

ニ　旧制中学又は新制高校卒と同等程度以上の学歴を有するもので、通産局長が認定した研修課程を修めたもの。

詳細については同会に問合せのこと。

南国市今月の税金

八月は本年度県市民税第二期分の納期（八月一日～三十一日）です。市民務課では次の通り出張徴収をしますから期限内納税に御協力下さい。

地区	月日	時間	場所
上倉	8月25日	前10時－正午	[illegible]農協支所
〃	8月26日	前11時30分－後1時	[illegible]農協支所
[illegible]岩	8月27日	前10時－前11時	成合農協支所
〃	8月29日	前10時－正午	[illegible]岩農協
大篠	〃	前9時－正午	明見公民館
日章	〃	前9時－正午	久枝公民館
〃	〃	後1時－後4時	下島浜公民館
上倉	8月30日	前9時30分－正午	上倉農協
久礼田	〃	前9時30分－正午	旧久礼田村役場
国府	〃	前9時－後4時	国府農協
長岡	〃	前9時－後4時	長岡東部公民館
大篠	〃	前9時－正午	朝日町北公民館
〃	〃	後1時－後4時	能間公民館
〃	〃	前9時－後4時	竹中公民館
三和	〃	前9時－後4時	片山公民館
稲生	〃	前8時－前11時	稲生西谷消防屯所
〃	〃	後2時－後4時	稲生立石公民館
十市	〃	前9時－正午	剣尾公民館
〃	〃	後1時－後4時	琴岡園芸組合
前浜	〃	前9時－正午	前浜里公民館
〃	〃	後1時－後4時	前浜中組公民館
国府	8月13日	前9時－後4時	国府農協
長岡	〃	前9時－後4時	長岡東部公民館
伊達野	〃	前9時－正午	住吉野公民館
大篠	〃	前9時－正午	篠原南公民館
三和	〃	前9時－後4時	浜改田公民館
稲生	〃	前9時－後4時	旧稲生出張所
十市	〃	前9時－正午	大小浜公民館
〃	〃	後1時－後4時	岡戸公民館
岩	〃	前9時－後4時	旧岩村役場

◎伊達野地区は住吉野公民館え、豊岡地区は岡豊支所、野田地区、稲吉、東崎西部、宇田、野中地区は市役所本庁え納めて下さい。

二番作の危機

今年は昔から続いた香長平野の二番作に大きな危機が静かにおとづれている。それは労働力の問題である。今までは労働力源として高岡、佐川、日下、加茂、斗賀野、須崎方面に求めていた。今年もいつものように三々五々と労働力を求めて西へ出かけて行ったが驚いたことには来る人がない。これはと方々探がしてみたが人を見付けるのがなかなかむつかしい。丸一日つぶして足を棒にして帰って近所の者に話してみると申合せたように誰も手ぶらで帰っている。原因はいろ〳〵あるがその一面は、須崎方面のチリ地震の津波の被害復旧作業に出れば、なかなかよい賃になるらしい。しかも八時間労働であるが、香長平野の鎌棒あきしは十二時間以上の重労働である。戦前の香長平野によく来てくれた人たちはもう老年となりこれない。今の若いオートバイ族では、苦しい重労働はとてもがまんできないであろう。この労働力の供給源として見付けたのが久枝、前浜地区の漁師をやとって刈取りくろ積み迄が一反約一斗四升位である。これも今年はなか〳〵入手難で二番作農家は困りぬいている。耕耘機は入り自動脱穀機は入り、機械化は進んだが、鎌棒あきしが今年のような人手難に会えば、たちまち刈取りは遅れ田植は時期を失する。これのかいけつ方法はどうするか、大きな問題である。刈取りを待っている田んぼは人手を待っている。我々百姓も考えるが指導的機関もすぐに考えて下さい。

（鉄　空）

あとがき

○前号の座談会の記事中、下から三段目の写真より右へ六行目「厚い布」は、「紙」、三行目「プロマイ」は「ストレプトマイシン」つづいて「マイシン類」は「クロロマイセチリン類」のそれぞれ誤まっておりましたので訂正します。

○松村義正さんの玉稿次号にまわしましたのであしからず。